



2022.02.16  
東日本Aブロック  
リーダー 飯塚誠二

## 1. 今回のワークショップの軌跡

---



産業廃棄物処理業経営塾OB会  
Alumni Association of Industrial Waste Business School

◆1回目 2020/10/27

内容:自己紹介、テーマ決め

◆2回目 2020/12/11

内容:「テーマ」災害廃棄物、サブテーマについて

◆3回目 2021/2/12

内容:各社における災害廃棄物処理実績等のアンケートの集計、議論

◆講演会 2021/4/15

内容:千葉県産業資源循環協会様による、「災害廃棄物の対応について」講演、昆虫食実食

◆4回目 2021/10/7

◆5回目 2021/11/2

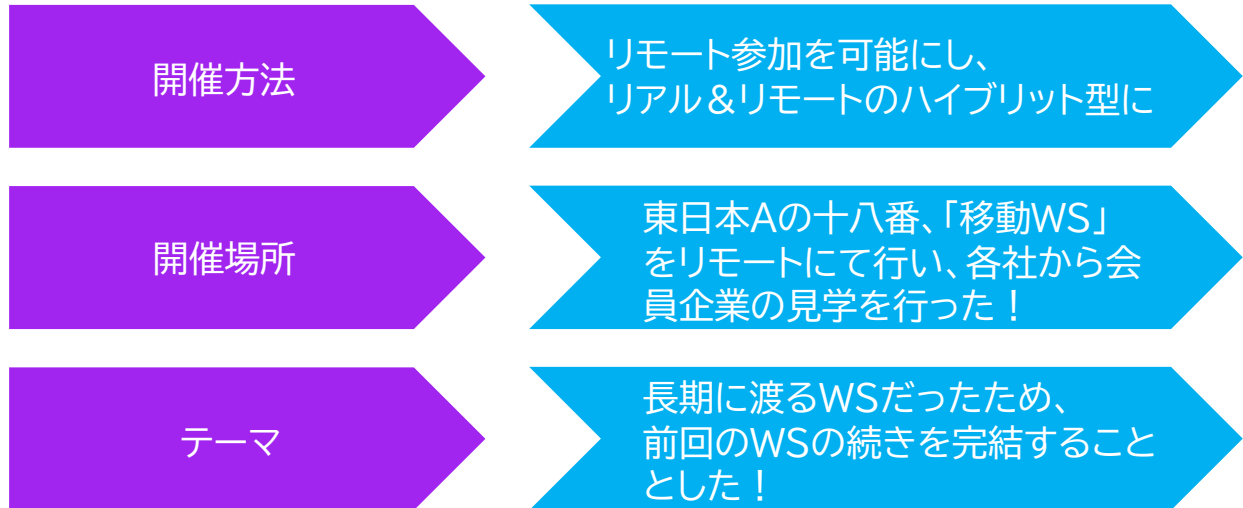
内容:成果発表会に向けた、まとめ

◆6回目 2021/11/30

内容:青木環境事業様のリモート工場見学会

## 2. 今回のWSの軌跡

従来と運営の仕方を変えました！



## 2. 今回のWSの軌跡



## 2. 今回のWSの軌跡



5

## 2. 今回のWSの軌跡



6

## 2. 今回のWSの軌跡



7

## 3. テーマ 災害廃棄物



井上前リーダー

### ◆2020年2月17日成果発表会にて..

井上前リーダーを筆頭に、東日本Aブロックは「流入規制」について調査を行ったが、調査をしている中で、2019年10月に発生した台風19号により、東日本は甚大な被害を受けたことから、「災害廃棄物」についても調査を行い、課題や問題点まで抽出が出来たので、より具体的な行動や考えを今まで災害に携わることの無かった方々に提案ができる内容で議論を致しました。

8

災害廃棄物について

実際に「処理業者」側と「行政」  
側それぞれの意見を  
聞いてみました！

9

災害廃棄物について

「処理業者」側の意見

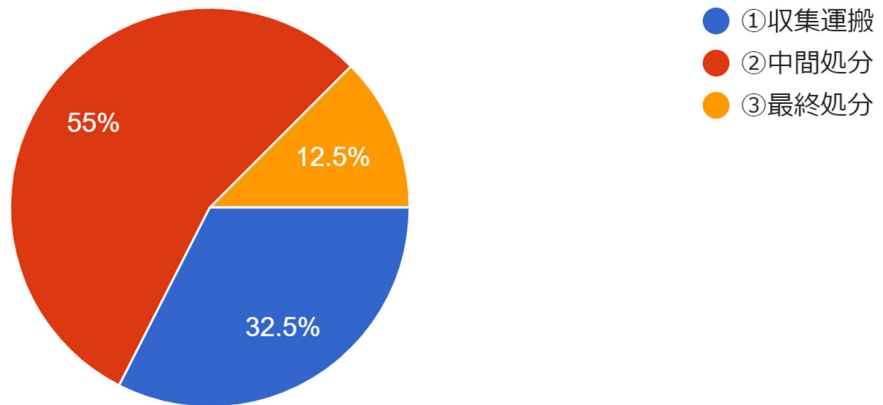
10

### 3. テーマ:災害廃棄物

## 災害廃棄物について

### ◆会員企業各社のアンケートの実施

1. 貴社の主となる事業内容はなんですか？  
40件の回答

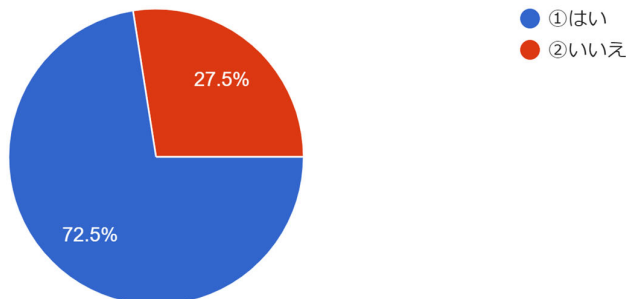


11

### 3. テーマ:災害廃棄物

## 災害廃棄物について

2. 災害廃棄物処理を行ったことはありますか？  
40件の回答



2-1. どのような処理(委託)内容でしょうか？



12

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

災害廃棄物処理の際に困ったことはありますか？

- ・通常業務もありながらの作業では不可能
- ・事前の協定や取り決め、またシミュレーションができておらず、混乱した
- ・各地から処理業者が一斉に集まり、現場が混乱した
- ・行政手続きに時間を要し、スムーズな処理ができなかった
- ・処理困難物の処理(産廃処理 or 一廃処理等)
- ・誰が、どの会社が、どの団体がイニシアチブをとるのかははっきりしていない

13

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

・誰が、どの会社が、どの団体がイニシアチブをとるのかははっきりしていない

良事例をあの方に聞いてみよう！！！！



これについて、実際に行政との連携がうまくいっている、「千葉県産業資源循環協会」の大賀副会長にご講演頂き、我々は知見を深めた！

14

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆どのようにしたら災害廃棄物処理に対応ができるのか？

##### ★大賀さんの講演でのポイント①

同業だけでなく、関連する各団体(解体組合、建築業組合、土木関連等)との連携を密にし、廃棄物処理業者だけでなく、協力体制を構築しておく。

##### ★大賀さんの講演でのポイント②

行政、廃棄物処理業者での日頃からの訓練(避難訓練はあるけれども、災害訓練はない。災害訓練を各自治体と創り、定期的実施)

##### ★大賀さんの講演でのポイント③

処理業者への処理代金はどのようにするのか、事前に協議し決定しておく(いつ、どこから、どのように支払われるのか等)

15

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆千葉県の実例(当時)

市原市五井ゴルフ場



J R 東千葉駅 (千葉市中央区)



16



### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆千葉県の実災状況(当時)

###### 鋸南町



17

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆千葉県の被災時仮置き場(当時)

###### 南房総市役所仮置き場 (南房総市)



###### 旧南三原小学校仮置き場 (南房総市)



18

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

#### ◆千葉県の実災時仮置き場(当時)

旧佐久間小学校仮置き場 (鋸南町)



岩井袋野球場仮置き場 (鋸南町)



### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

## 「行政」側の意見

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆行政への「我々に期待すること」のヒアリングも実施

###### ★栃木県N市(災害協定:有)

###### ・災害廃棄物処理従事者の更なる育成

→仮置き場での分別判断や、作業に使用する重機等に関しては素人では到底できることではないので、災害時を想定し、適正に分別・処理ができる体制を日頃から訓練をしておいてほしい。

###### ・仮置き場での技術者の育成

→仮置き場での統括管理者(法的な知識、統率力、処理方法等)の育成を図ってほしい(災害があった際に率先して対応ができる人材の育成)

また二次災害の危険が常にあることを念頭に置き、行動ができるようなリーダーの育成をしてほしい。

21

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### 災害廃棄物について

##### ◆行政への「我々に期待すること」のヒアリングも実施

###### ★山形県K町(災害協定:無)

###### ・精算時における比重情報の事前共有

→排出量算出では、容積でなく、重量で計上するため、各災害事ごと(台風・地震等)の比重換算表のようものがあれば、経費の積算が早く済み、精算もスムーズに行えるので、事前に情報交換をしておきたい。

###### ・災害廃棄物のリサイクル

→何が、どのようにリサイクルできるのか、理解が薄いため、平時より、廃棄物処理業者と情報交換を行い、処理計画を組み立てておきたい。

22

日本において、どの地域でも災害は起きる可能性があります。

他人事ではなく、災害が起きた際に、復旧の手助けを  
することができるのは、我々処理業者の役目

更に

行政も我々処理業者に大きな期待をしてくれている

23

## 災害が起きた時に備えて

### ①地域と共に学ぶ機会を作る

処理業者だけでなく、地域住民や行政、各専門業者に対して、災害廃棄物について知ってもらう。イベントや地域のセミナーに参加させて頂き、地域住民の方、行政の方々とのコミュニケーションを日頃から図る。

### ②人材不足は各組織とのコミュニケーションで解決

人材不足は災害廃棄物処理においても復旧に大きな影響がある。そこで我々が各地域の土木関係や建設組合などと連携をとり、災害発生時のルール等を事前に検討。各種関連業界と連携を図ることで、人材不足を補い、処理がスムーズに行える環境を整えておく。

24

### 3. テーマ:災害廃棄物

#### ★ボランティア活動を支える制度づくり

最後に・・・

##### ◆災害の復興について

現行の法律や制度では、経済的な理由により修繕や解体ができない被災者に復興支援の手が届いていない。災害が発生する度に復興から置き去りにされる被災者がいる事、今できる事や事前準備などを考えてきましたが、いまなお復興支援を必要とする沢山の方々がいる、災害が多発する日本だからこそ手厚く被災者を支えていくボランティア活動を支える制度づくりをしていく必要があると思いました。

25

### 4. 飯塚の独り言



TAKEO